

経済・金融 フラッシュ

5月米 CPI・PPI は、ともに2カ月連続で前月比マイナスに

経済調査部門 主任研究員 土肥原 晋

TEL:03-3512-1835 E-mail: doihara@nli-research.co.jp

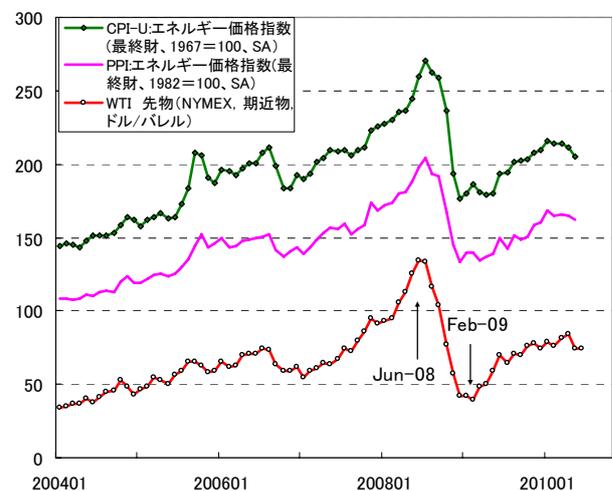
(物価の概況)

1、5月物価は、原油価格変動の影響を色濃く受けた状況～コア指数は安定推移を継続

米国の5月物価指数はCPI(消費者物価)、PPI(生産者物価)ともに、前月比では低下、前年比では上昇の動きとなった。昨年2月をボトムに上昇に転じた原油価格(月別)が、最近の欧州の債務懸念等で一服しており、そうした動きに其々の物価指数が連動したものと言える。

もっとも、エネルギー・食品を除いたコアベースのCPI・PPIは、いずれも低位安定的な推移を見せており、高失業率と低稼働率が続く中、インフレ圧力は抑制された状況が続いている。

(図表1) 原油価格とエネルギー物価指数の推移



(資料) 米労働省、等

(消費者物価の動向)

2、5月CPIは前月比▲0.2%と、エネルギー価格ピークアウトで連月の下落

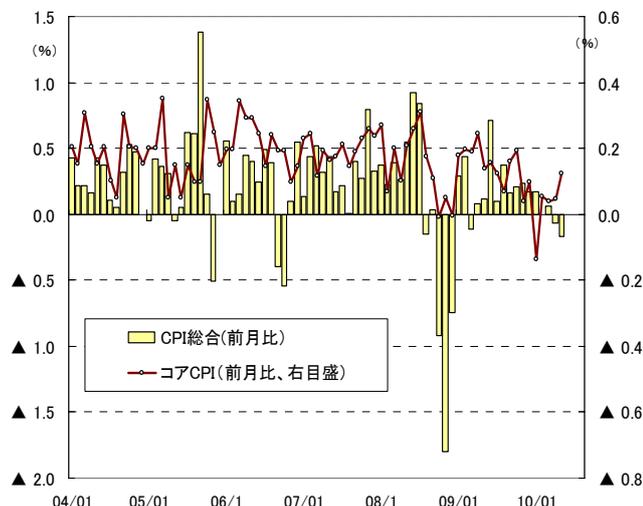
米労働省発表の5月CPI(消費者物価)は前月比▲0.2%(4月同▲0.1%)と連月で下落、市場予想と一致した。ガソリン価格の下落が大きく(4月同▲2.4%、5月同▲5.2%)、エネルギー価格全体でも4月同▲1.4%、5月同▲2.9%と下落したことが大きい。また、エネルギー・食品価格を除いたコアCPIでは前月比+0.1%(4月同0.0%)となり、こちらも市場予想と一致した(図表2)。

前年比のCPIは+2.0%となった。前月比と異なり、前年比ではガソリン価格の上昇が+27.0%と大きく、エネルギー価格全体でも+14.7%の上昇となる。これらのエネルギーや食品価格を除いた前年比のコアCPIは+0.9%の伸びに留まる(図表3)。

CPIの内訳を見ると、財物価では幅広い下落が見られ、前月比▲0.6%とマイナスが続いている。財物価の中では、食品(前月比0.0%)、衣料品(同▲0.2%)を除いた非耐久財が同▲2.0%とマイナスが大きかった。一方、サービス価格は同+0.1%と上昇している。光熱費(同▲0.5%)を除くと、家賃(同+0.1%)、運賃(同+0.4%)、医療サービス(同0.0%)、水道・ごみ処理(同+0.5%)、等を中心にサービス価格はほとんどの項目で横ばいないし若干の上昇を続けている。もっとも、リ

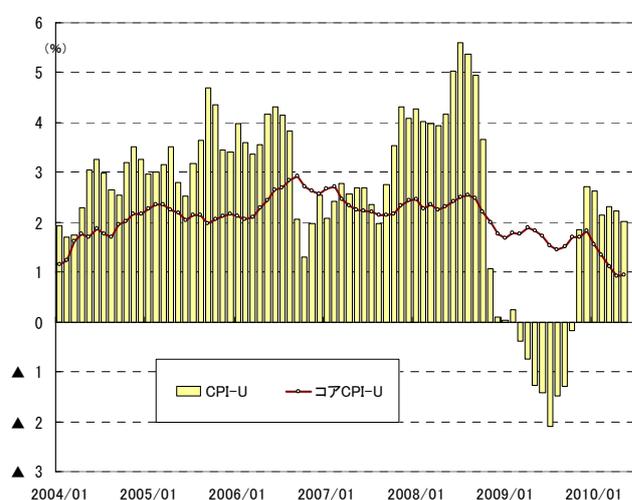
セッション前に、住宅価格の上昇を受けた家賃が上昇、医療費と並んでコア物価を押し上げていた時期とは様変わり状況にある。

(図表 2) 消費者物価指数の推移 (前月比)



(資料) 米労働省

(図表 3) 消費者物価指数の推移 (前年比)



(資料) 米労働省

(生産者物価の動向)

3、5月 PPI は前月比▲0.3%と、エネルギー価格下落の影響が大きく連月の下落

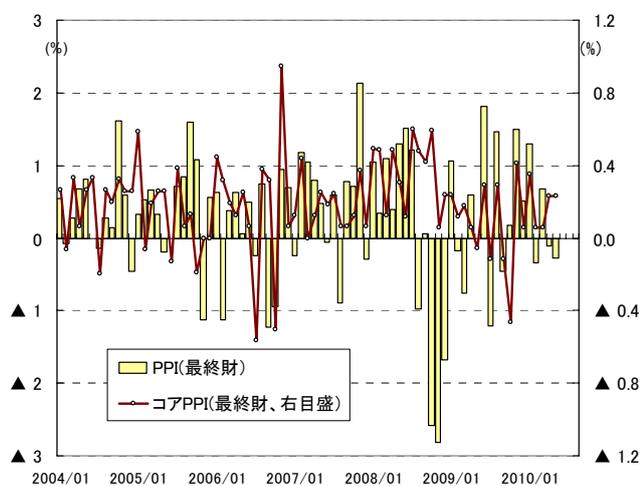
5月 PPI (生産者物価、最終財) は前月比▲0.3%(4月▲0.1%)と連月の下落となったが、市場予想 (▲0.5%) より下落幅が小さかった。前月比の下落は、エネルギー価格が前月比▲1.5% (4月▲0.8%)、食品価格が同▲0.6% (4月▲0.2%) といずれも連月で下落したことが大きい。一方、エネルギー・食品価格を除いたコア PPI では、同+0.2% (4月+0.2%) と市場予想 (+0.1%) を上回り、7ヵ月連続で上昇した(図表 4)。

前月比とは対照的に、前年比の PPI は+5.3% (4月+5.5%) と上昇、市場予想 (+4.9%) より上昇幅が大きかったが、3月 (+6.0%) をピークに連月で伸び率を低下させた。前年比ではエネルギー価格が同+17.1%と大幅な上昇を見せており、食品価格も同+5.7%と上昇が大きい。特に、原油価格の上昇を受けたガソリン価格は同+31.2%、家計暖房向けオイルでは同+44.8%の上昇となった。

一方、エネルギー・食品価格を除いた前年比のコア PPI は、+1.3% (4月+1.0%) と市場予想 (+1.1%) をやや上回った。家庭用電気機器 (同▲1.1%)、乗用車 (同▲0.6%) 等の消費者向け耐久財、コンピュータ (同▲11.2%) 等の資本財、等では下落を見せるものも多かった。前年比の PPI では、原油価格上昇の影響が色濃く残る状況となっているが、コアベースの PPI は、低位安定的な推移が続いている(図表 5)。

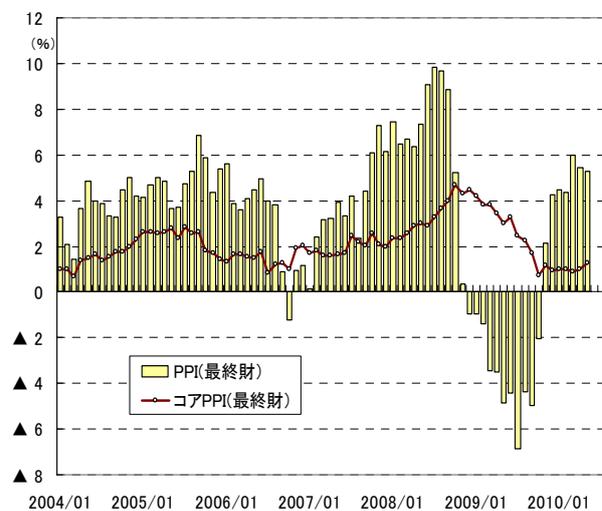
なお、5月 PPI (中間財) では前月比+0.4% (4月+0.8%)、前年比+8.5% (4月+8.6%)、5月 PPI (原材料) では前月比▲2.8% (4月▲1.2%)、前年比+21.2% (4月+28.8%)、また、5月 PPI (コア中間財) では前月比+0.3% (4月+1.1%)、5月 PPI (コア原材料) では前月比▲1.6% (4月+4.0%) となっている。

(図表4) 生産者物価指数の推移 (前月比)



(資料) 米労働省

(図表5) 生産者物価指数の推移 (前年比)



(資料) 米労働省

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。